

クリエイティブかつソーシャルな革づくりを東京から発信

■革新と革本来の魅力を追求し、

東京レザーをアップデート

ものづくりは時代を映す鏡。30年続いた平成にピリオドが告げられ、次の時代へと移る。そんな空気を感じ、呼吸するように、しなやかに進化し続ける長坂染革。染色、オイル、ワックス、こがし加工…と技術を駆使し、革本来の魅力を探る。ナチュラル感、ハンドメイド感、エイジングほか革好きユーザーの嗜好を把握する一方で、企画担当者の意向も柔軟に反映。ベテランクリエイターはもちろん、ビジネスパーソンからも頼りにされている。

重厚感のあるヌメ革から、繊細なインクジェットプリントまで守備範囲は広いが、豚革の魅力をよりよく引き出すことを心掛けている。

「ひとつひとつのご依頼に丁寧にお応えできるよう努力しています。地道にやっているなかで『また頼みたい』と言っていただけるのがうれしいです。こうした積み重ねで東京の革づくりに携わる一員として、できる限り次の世代へつなげていきたい」と代表取締役の長坂守康さんは語る。

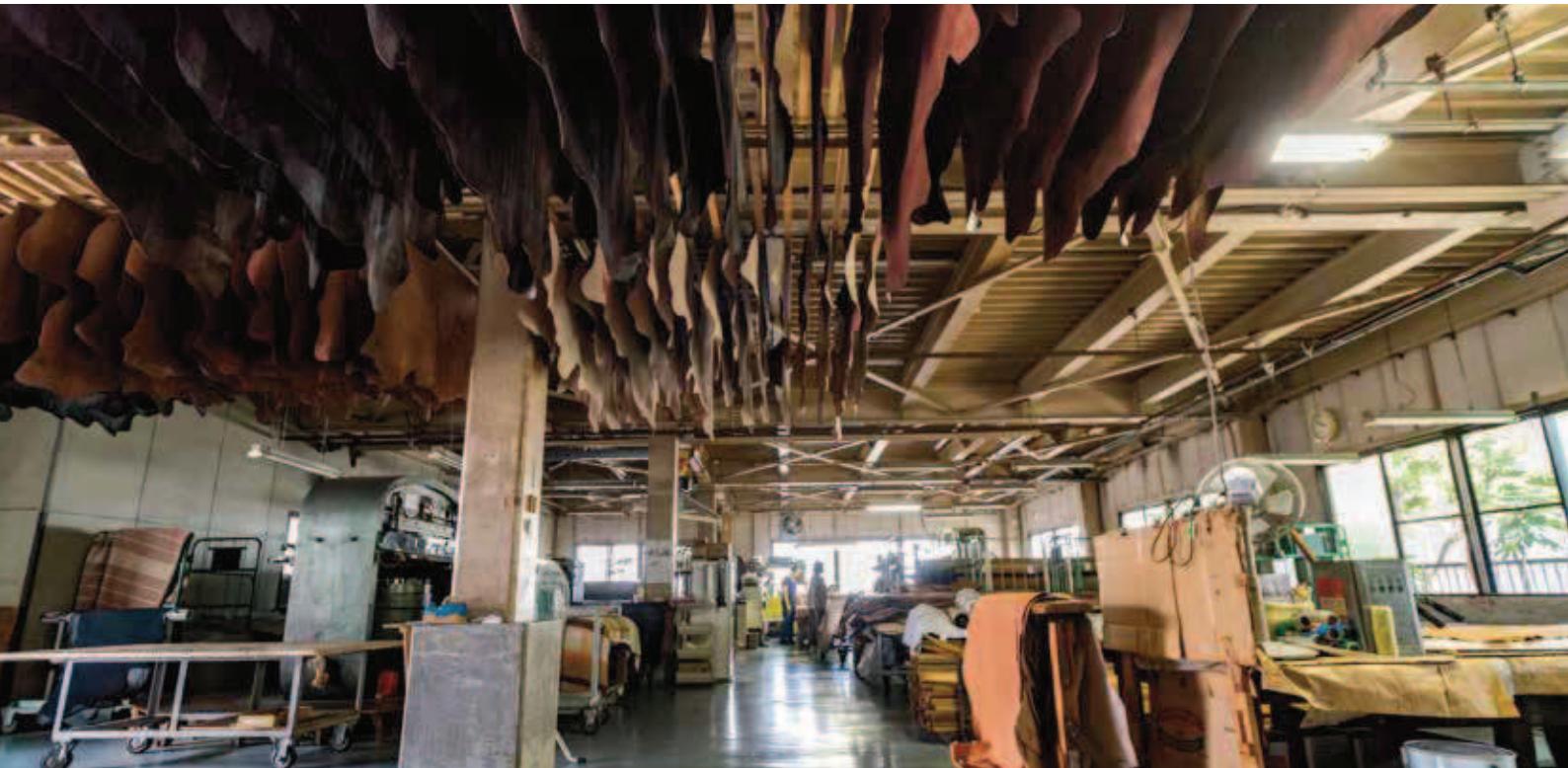
長坂社長は建築関連の仕事から転身。祖父から続く家業を継いだ。3代目社長自ら現場で手を動かし、若いつくり手、女性スタッフたちを牽引。瑞々しい感性と円滑なチームワークで東京レザーをアップデートする。

■革・もの・ひとをつなぐクラフトマンシップ

「乗用車内装の試作や、ステーショナリー、プロダクトなど、普段関わることがない案件は大変刺激になります。今後もいろいろなジャンルに挑戦していきたいです」



代表取締役
長坂 守康
Moriyasu Nagasaka



Editor's Memo

- ◆牛革、ゴートなどのタンニンなめしも対応
- ◆美術大学を卒業した若いスタッフが在籍し、感度が高い革づくりが秀逸
- ◆イベント用に皮革小物の販売(不定期)も行う

2021

■革新と革本来の魅力を追求し、

近年、「クリーマ」「ミンネ」といったハンドメイドマーケットの需要拡大に合わせ、個人で活動するクリエイターが増加。長坂染革では小ロットの注文にも受入れ体制を整え、培ってきた技術力と経験で対応している。

「工場見学についての問合わせも増えているので、業務に支障がない範囲内でご希望に添えるようにしています。これまで有力メーカー、セレクトショップ、百貨店ほか、たくさんの関係者にご覧いただきました。人工皮革と皮革の違いをはじめ、基礎知識を学ぶ機会がない販売スタッフの皆さんにレザーの魅力をお伝えできたらと思います。皮革業界のためになりますし、社会貢献の一助になればいいなど。弊社は浅草、墨田エリアから離れているのですが『浅草エーランド』関連企画にもご協力させていただいています。」

皮革を起点に、ものづくりとひとをつなぐ、同社のクラフトマンシップ。長坂社長をはじめ各スタッフの胸にそっと灯り、ジャパンレザーの未来を照らす。

問い合わせ

NAGASAKA SENKAKU CO.LTD.

長坂染革株式会社

〒124-0006 東京都葛飾区堀切 1-34-8

TEL. 03-3691-1161 FAX. 03-3691-1512
nagasaki_senkaku@yahoo.co.jp



お客様へ

弊社は自社工場で染色・加工の仕上げして、また販売をする会社です。ピッグスキンをはじめ牛革、ゴート等のタンニン鞣し素材を中心に仕上げをしています。革らしさや風合いを最も多く併せ持つヌメ革の素材感を大切に、手作業により革の魅力を十分に引き出す商品創りを心がけています。ご相談により個々に対応した独自性のある素材をご提案します。またインクジェット印刷やフィルム加工もできますので複合的でより個性的な素材を創造することが可能です。

取扱素材・加工一覧
自社内で可能
連携工場で対応

豚革 牛革 ゴード シープ
 山羊

タンニン鞣し 混合鞣し クロム鞣し ホワイト鞣し エコレザー認定可

下地

オリジナル下地対応 最小ロット 枚くらいから サンプル製作可

下地を スエード 豚吟付き
手配可能

下地の 牛革、ゴード 小売可
在庫あり

仕上げ方法

サンプル製作可 最小ロット 10枚くらいから

顔料 染料 素上げ 抗菌加工 アンチック シュリンク

しぶり染 収縮 手塗り 撥水加工 クラック プルアップ

パール加工 オイル ウォッシャブル

後加工

柔軟仕上げ グレージング フィルム加工 箔加工 型押し 漂き

縮絨加工 パンチング 転写プリント シルク印刷 カッティング

3D加工 プリーツ 吟入り加工 計量 インクジェットプリント



ペイントフラワー



トラッドアンチック



ナチュラルレザー



プリント革+a

インクジェットプリントですから自由な柄ができ、さらに型押しやワックス加工をお好みで追加が可能です。



nagasaki
senkaku



f
長坂染革

斬新なアイディア、たゆまぬ探求心で、ピッグスキンの未来を創造

■革づくりを徹底追求

まっすぐな企業姿勢に信頼が寄せられる

革を乾燥する際の「板張り」という昔ながらの手法を守り続けるニシノレザー。現在、東京都内のタンナーでは同社のみとなった。

一枚一枚の革を板の上に張り、釘で固定。通常よりも素材の表面が平板になり品質が向上するのだそう。「本社の2階に風が通り抜ける乾燥スペースで時間をかけて仕上げています。時間も手間もかかってしまうのですが、いい革をつくってお届けしたい、その一心で続けています」と代表取締役の西野佳伸さん。また加工される前の「下地」と呼ばれる皮革素材の製造で地域のものづくりを支えている。

そんな誠実さ、クオリティの高さは国内外で高く評価され、近年では、同社の皮革素材を採用している有名メーカー公式サイトが取材、紹介し、幅広い世代のレザーファンから注目を集めた。

同社は工場見学を行っていないが、東墨田エリアの地場産業である、ピッグスキンをはじめとした皮革産業の情報発信に協力。東京都立皮革技術センター恒例の施設公開と連動し、特別に見学企画を試みるべく計画が進む。

■主役級の新レザー、完成間近!

付加価値性が高いピッグスキンは世界レベル

ヨーロッパでは食文化の違いから生産が少なく、ピッグスキンは希少な皮革素材と認知されているそうだ。

「しかし、日本国内ではピッグスキンというと、シュー

ズのライニング(靴の内側・裏張りとよばれる部分)用の素材、という固定概念をおもちのかたが多いのが残念でなりません。付加価値性が高く、存在感のある皮革素材をつくって、認識を変えるきっかけになれば」(西野社長)。

タンニン鞣しのヌメ革をベースに、自社で開発したノンクロームレザーでは、黄変しにくい「スーパーホワイト」を実現。「白いレザーは売りにくい、使いにくい」という常識を打ち破る。海外ブランドでも採用された。

試行錯誤を経て、つくり上げた新素材が完成間近。生皮(きがわ／現在の鞣しの定義としての、鞣し剤を用いた鞣しを行わない皮。半透明の皮)を応用し、色づけにトライ。これまでにない滑らかさ、トレンドの透け感、エキゾチックレザーのような特別感を表現する。展示会でのお披露目に向か、最終段階のブラッシュアップに余念がない。

Editor's Memo

◆試作中の生皮・進化バーションはインテリア関連製品などにも適しているそうなので、今後の正式発表にご期待を!

◆整理整頓の徹底は、業界随一。ファクトリーというより、ラボラトリーのような印象。同社の企業姿勢とリンクしている



代表取締役
西野 佳伸
Yoshinobu Nishino



問い合わせ

NISHINO LEATHER CO.,LTD.

株式会社ニシノレザー

〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-5-3

TEL. 03-3616-4961

FAX. 03-3613-4602



お客さまへ

弊社はピッグスキンの各種スエード・植物タンニンなめし革・シュライニング・クロームフリーなめし革などを製造しています。『なめし』『染色』『仕上げ』『後加工』の一環工程により、革の性質を活かし、風合いや厚さを調整するなど手作業ならではの各種用途に対応しています。

天然素材である「革」を真摯に受け止め、研究と開発による高品質な製品づくりをと、日々取り組んでおります。

取扱素材・加工一覧

自社内で可能

連携工場で対応

豚革 牛革 ゴード シープ
 山羊

タンニン鞣し 混合鞣し クロム鞣し ホワイト鞣し エコレザー認定可

下地

オリジナル下地対応 最小ロット 200枚くらいから サンプル製作可
 他社から 手配可能 スエード ライニング
 下地の 在庫あり スエード 色 小売可

仕上げ方法

サンプル製作可 最小ロット 100枚くらいから
 顔料 染料 素上げ 抗菌加工 アンチック シュリンク
 しぼり染 収縮 手塗り 撥水加工 クラック ブルアップ
 パール加工 オイル ウオッシャブル

後加工

柔軟仕上げ グレージング フィルム加工 箔加工 型押し 漂き
 縮絨加工 バンチング 転写プリント シルク印刷 カッティング
 3D加工 ブリーツ 吟スリ加工 計量 インクジェット
 プリント

スーパーホワイト（エコレザー）

これまでにない純白色のノンクローム製品です。従来よりも黄変しにくく加工しやすい仕上がりなので、最大に発色の良さを引き出せる素材です。

Pタンニン（エコレザー）

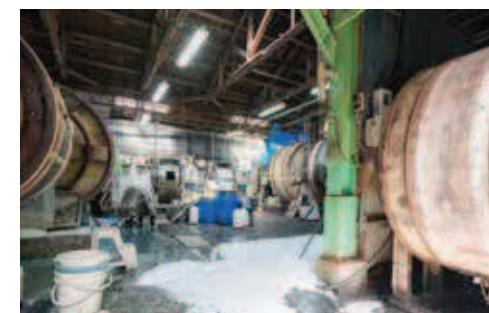
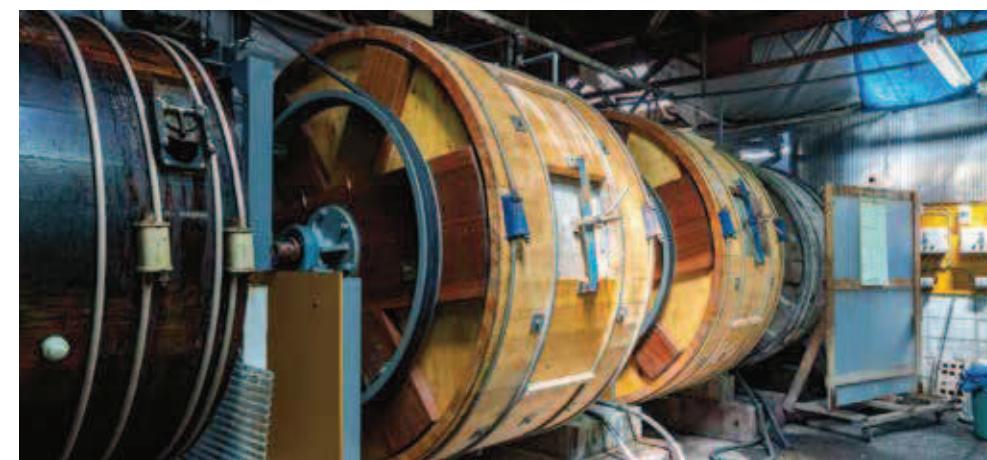
独自の製法による伝統的なタンニンなめしが特長。こちらが豚ヌメの下地となります。

ベジタン #オリジナル（エコレザー）

植物タンニンをメインに鞣すことにより、フワッとぬくもりある素上げでナチュラル感を。下地から染色する製品や後染めする製品のどちらにも使いやすく作りました。

エコレザーバリエーション

弊社は皮を鞣すところから、下地を造っています。皮の厚さや感触など商品ロットにより応じる事も可能です。



エコレザー「オルガノ」の技術力が、地域発信のものづくりまでをサポート

■ エシカルなものづくりに寄り添う 「オルガノホワイト」

原皮の仕入れからなめし、染色、仕上げまでを、一貫してできるのが大きな強みである福島化学工業。仕入れた原皮のサイズやクオリティを、熟練した職人が1枚1枚指先で確かめながら、日々鞣し作業を行っている。三好務工場長は、「会長からは、『指先が基本なので何でも触って確認するように』と教えられました。作業時はできるだけ手袋をはめずに、指先の感覚を研ぎ澄ましています」と語る。

この工場では、クリアなホワイトの発色が美しい「オルガノホワイト」を開発。エコレザーであるうえに、インクジェットプリントの下地としても人気が高い。傷や肌荒れが少ない原皮を選び分けるので、全体のうち一割程度しか取れない希少な素材だ。こちらの事務所にデータを送れば、インクジェットプリントまで一貫して行うことができるのも強み。

「最近ではクロムレス、ホルマリンレスの『オルガノII』も完成し、エシカルなものづくりにこだわるクリエイターなどに支持されています」と福嶋伸行さんは話す。

■ 豚の生産者とのつながりが 新しいものづくりを生む

ここ最近では、原皮を入れるうえで、農場とのつながりも生まれてきている。関東近郊でブランド豚を

飼育する養豚場から、「自社で出た豚の皮をなめしてほしい」とのオファーが届いたという。

「その養豚場のオーナーは、とりわけ旨味のある豚を、努力を惜しまず育ててきた方。地元では地産地消の一環で、その肉を“地場産ブランド豚”として売り出していますが、今回は肉だけでなく革までも一貫して活用し、地元のメーカーが縫製する“地場産のバッグ”として世に出すお手伝いをさせていただきました」と話す。福島化学工業が持つ強みと、生産者とのタッグが実現したことでの地域発信の新しいものづくりが生まれている。

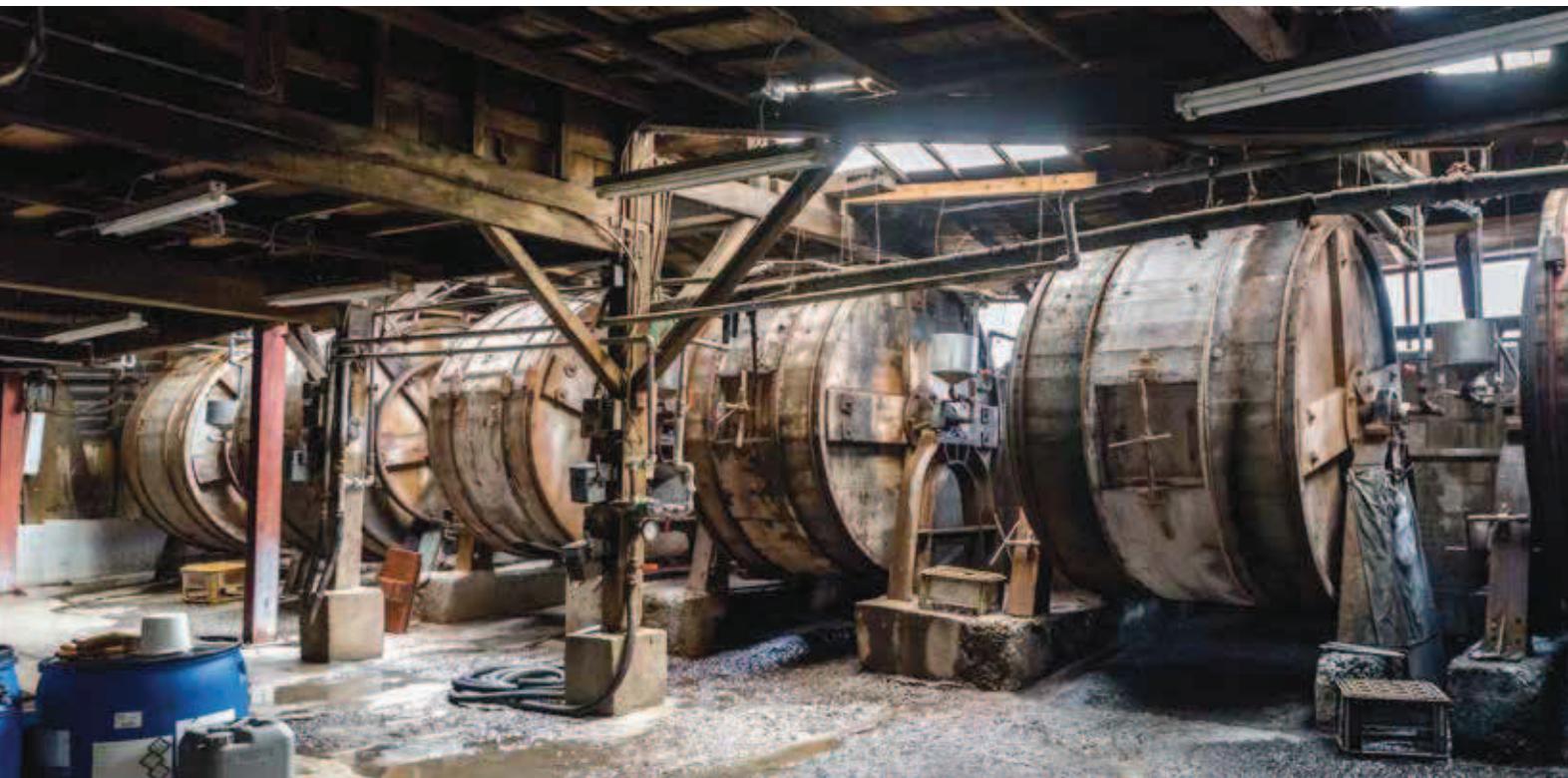
現在はピッグレザーだけでなく、ホース(馬)やシープ(羊)、ディア(鹿)など、様々な動物の革にチャレンジしている福嶋さん。「これからも、一貫生産の強みと技術力を活かしたものづくりをしていきたい」と意気込みを語る。

Editor's Memo

- ◆ 豚以外の動物として、いまでは希少なバッファロー(水牛)の革もなめした経験がある
- ◆ 百貨店などで人気上昇中の某バッグブランドは、こちらのピッグレザーがメイン
- ◆ ランドセルの裏革にもピッグレザーが使われる。コードバン革のものなど高級ランドセルには不可欠



担当
福嶋 伸行
Nobuyuki Fukushima



問い合わせ

FUKUSHIMA KAGAKU KOUGYO CO.,LTD.

福島化学工業株式会社

〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-9-17

TEL.03-3616-0010 FAX.03-3616-0013

akio@fukushima-kagaku.co.jp



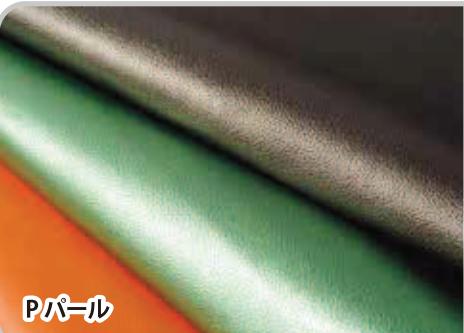
お客さまへ

弊社は環境問題と人にやさしい素材作りにこだわっており、中でもエコロジーな素材を求めるお客様からは「オルガノ」シリーズが好評です。とくにオルガノホワイトは数百回の加工剤の選定、工程の改良によってインクジェット用に最適な白度の高い革になりました。現在ではオルガノシリーズでノンクロム、ノンホルマリンのオルガノIIも完成しました。また皮革では初の『JIS規格』の抗菌防臭加工も行っています。

ジャパンクリエーションテキスタイルコンテスト3年連続入賞、2006年には特別賞を受賞し、素材開発力を高く評価していただいております。革についてのご質問・ご相談などお気軽にお問い合わせください。

取扱素材・加工一覧 自社内で可能 連携工場で対応

- | | | | | |
|---|---|--|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 豚革 | <input type="checkbox"/> 牛革 | <input type="checkbox"/> ゴード | <input type="checkbox"/> シープ | |
| <input checked="" type="checkbox"/> タンニン鞣し | <input checked="" type="checkbox"/> 混合鞣し | <input checked="" type="checkbox"/> クロム鞣し | <input checked="" type="checkbox"/> ホワイト鞣し | <input checked="" type="checkbox"/> エコレザー認定可 |
| 下地 | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> オリジナル下地対応 | 最小ロット20枚くらいから | | | <input checked="" type="checkbox"/> サンプル製作可 |
| 自社で | <input checked="" type="checkbox"/> オルガノII | オルガノ | | |
| 手配可能 | | | | |
| 下地の | <input checked="" type="checkbox"/> ラッカーアート | 5色 | 小売可 | |
| 在庫あり | | | | |
| 仕上げ方法 | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> サンプル製作可 | 最小ロット10枚くらいから | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 顔料 | <input checked="" type="checkbox"/> 染料 | <input checked="" type="checkbox"/> 素上げ | <input checked="" type="checkbox"/> 抗菌加工 | <input checked="" type="checkbox"/> アンチック |
| <input type="checkbox"/> しぼり染 | <input checked="" type="checkbox"/> 収縮 | <input type="checkbox"/> 手塗り | <input checked="" type="checkbox"/> 撥水加工 | <input checked="" type="checkbox"/> クラック |
| <input checked="" type="checkbox"/> パール加工 | <input checked="" type="checkbox"/> オイル | <input checked="" type="checkbox"/> ウォッシュアブル | | <input checked="" type="checkbox"/> ブルアップ |
| 後加工 | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 柔軟仕上げ | <input checked="" type="checkbox"/> グレージング | <input checked="" type="checkbox"/> フィルム加工 | <input checked="" type="checkbox"/> 箔加工 | <input checked="" type="checkbox"/> 型押し |
| <input type="checkbox"/> 縮絨加工 | <input checked="" type="checkbox"/> パンチング | <input type="checkbox"/> 転写プリント | <input type="checkbox"/> シルク印刷 | <input checked="" type="checkbox"/> カッティング |
| <input type="checkbox"/> 3D加工 | <input checked="" type="checkbox"/> プリーツ | <input type="checkbox"/> 吟スリ加工 | <input type="checkbox"/> 計量 | <input checked="" type="checkbox"/> インクジェットプリント |



Pパール

パールの華やかな印象で婦人靴のライニングとして最適です。小物などにも応用できる革です。



オイルアニリン

植物タンニンでなめし、オイルで仕上げた透明感のある革らしい革です。

オルガノホワイト

クロムもホルマリンも使用していない人体と環境に配慮した白い革。柔軟性にも優れています。



パステル

ノンクロム、ノンホルマリン・レザー。クロムのくすみがなく発色がとても良いのが特長。カラーバリエーションも増やしています。

山口産業株式会社

「コロナ禍に負けず、豚革の“本質価値”を上げるプロジェクトを推進」

■コロナ禍の中で「やさしい革のある暮らし」を

「一般社団法人やさしい革」を主催する山口産業では、このコロナ禍でも継続して、豚革の強みを生かした様々なプロジェクトを行っている。

原点に立ち返る意味もあり、豚革の本来の価値を再認識する商品開発を進めている。そのひとつが、昔から作られてきた植物タンニンでなめされる「アメ豚」。この素材のもつ自然のままの質感や強度を活かし、山口産業のラセッテー鞣し製法でリニューアルさせた。加えて豚革ならではの、細かい地シボやきめ細かさを引き出した「シュリンク」と「ヌバック」も新たに開発。

「実はピッグのシュリンクやヌバックは、裏面のボソも出にくく、強度も高い。バッグやスニーカーなどメイン素材としても最適で、国内の著名ブランドにも数多く使って頂いています」と代表の山口明宏社長は話す。

またファッショニに限らず「やさしい革のある暮らし」を実現するため、人と自然環境にやさしい生産活動や販売活動をめざす企業やブランドに対し、「サポートー企業・団体」としての募集(登録無料)を始めた。「やさしい革」のサイトには、協力企業のリンクを貼ることで、双方で連携し合えるような体制も整えている。

■進化を続ける「MATAGIプロジェクト」

国内では変わらず、獣害による被害は後を絶たず、地方の山林では獣友会の方による駆除がつづいている。山口産業では「MATAGIプロジェクト」を通じて、産地から送られてきた動物の皮をなめしてまた産地へ返す、という仕組みを整えている。



代表取締役
山口 明宏
Akihiro Yamaguchi



■コロナ禍の中で「やさしい革のある暮らし」を

「一般社団法人やさしい革」を主催する山口産業では、このコロナ禍でも継続して、豚革の強みを生かした様々なプロジェクトを行っている。

原点に立ち返る意味もあり、豚革の本来の価値を再認識する商品開発を進めている。そのひとつが、昔から作られてきた植物タンニンでなめされる「アメ豚」。この素材のもつ自然のままの質感や強度を活かし、山口産業のラセッテー鞣し製法でリニューアルさせた。加えて豚革ならではの、細かい地シボやきめ細かさを引き出した「シュリンク」と「ヌバック」も新たに開発。

「実はピッグのシュリンクやヌバックは、裏面のボソも出にくく、強度も高い。バッグやスニーカーなどメイン素材としても最適で、国内の著名ブランドにも数多く使って頂いています」と代表の山口明宏社長は話す。

またファッショニに限らず「やさしい革のある暮らし」を実現するため、人と自然環境にやさしい生産活動や販売活動をめざす企業やブランドに対し、「サポートー企業・団体」としての募集(登録無料)を始めた。「やさしい革」のサイトには、協力企業のリンクを貼ることで、双方で連携し合えるような体制も整えている。

■進化を続ける「MATAGIプロジェクト」

国内では変わらず、獣害による被害は後を絶たず、地方の山林では獣友会の方による駆除がつづいている。山口産業では「MATAGIプロジェクト」を通じて、産地から送られてきた動物の皮をなめしてまた産地へ返す、という仕組みを整えている。

今年は「大日本獣友会」と協業して、産地の獣革活用促進を目的に「MATAGIボストンバッグ」という企画を推進している。産地から送られたイノシシやシカの獣皮を同社がなめし、墨田区の二次加工所が仕上げて、そのレザーを使って同区のかばん工房が仕立てるという「墨田パワー」を集結させたオリジナルのボストンだ。

「かばんは基本の加工費のみで制作し、産地の獣師さんに製品として返すという取り組みです。ご自分用やギフトとしても最適ですし、もちろん産地で販売して頂くことも可能です。野生動物のキズやアザなどはあえて残しつつ、タフで力強いデザインにしました。動物たちの生きてきた背景を思い描きながら、使って頂ければ幸いです。」と山口社長は笑顔で話す。今後も豚革の“本質価値”を伝え動物福祉に配慮した原皮を活かす、ハッピーピッギー・プロジェクトも大きく動き出すということだ。

Editor's Memo

◆モンゴルに「ラセッテーなめし製法」を技術提供し、モンゴル国内でレザーのブランド化を進めるプロジェクトも推進中。社長自身もモンゴルにはかなり詳しくなったとか

◆動物愛護の観点から、ストレスフリーで育てた豚の原皮を使ってなめし、製品に仕立てる「ハッピーピッギー・プロジェクト」が国内で今秋スタート

◆養豚場のブタたちがストレスで互いに噛み合わないように、アーティストと協働で“コロコロ転がす豚のおもちゃ”を制作して、原皮が傷つかない仕組みづくりを養豚農家と目指す

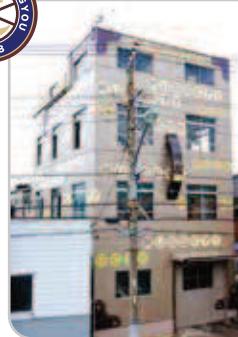
問い合わせ

YAMAGUCHI SANGYOU CO., LTD.

山口産業株式会社

〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-11-10

TEL: 03-3617-3868 FAX: 03-3613-3239
Mail: master@yamaguchi-sangyou.co.jp



取扱素材・加工一覧
自社内で可能
連携工場で対応

豚革 牛革 ゴード シープ
 タンニン鞣し 混合鞣し クロム鞣し ホワイト鞣し エコレザー認定可

下地

オリジナル下地対応 最小ロット100枚くらいから サンプル製作可
 他社から 手配可能 スエード ライニング

下地の在庫あり スエード 色 小売可 ラセッテー 12色 小売可
ナチュラル

仕上げ方法

サンプル製作可
 顔料 染料 素上げ 抗菌加工 アンチック シュリンク
 しぼり染 収縮 手塗り 撥水加工 クラック ブラックアップ
 パール加工 オイル ウオッシュブル

後加工

柔軟仕上げ グレージング フィルム加工 等加工 型押し 渡き
 縮絨加工 バンチング 転写プリント シルク印刷 カッティング
 3D加工 プリーツ 吟入り加工 計量 インクジェットプリント

ヌバック

カラー：サドルブラウン、金色
厚さ：約 1.0mm
大きさ：約 80 デシ（スクエア・トリミング）
デシ単価：94 円

アメ豚

カラー：サドルブラウン・金色
厚さ：約 1.0mm
大きさ：約 80 デシ（スクエア・トリミング）
デシ単価：105 円

シュリンク

カラー：サドルブラウン・黒色
厚さ：約 1.3mm
大きさ：約 120 デシ（フル・トリミング）
デシ単価：76 円

クラスト

カラー：ナチュラル色
厚さ：約 1.3mm
大きさ：約 140 デシ（ノー・トリミング）
デシ単価：23~35 円（等級別）

有限会社日下部工業所 シャーク・スキンを扱うタンナーです

問い合わせ

KUSAKABE Shark LEATHER CO.

〒329-440

栃木県栃木市大平町牛久 659

TEL.0282-22-2354
FAX.0282-25-6354

お客様へ

水に強く、強度も高いシャーク・スキン(鮫革)は高級素材として人気です。独特のシボ感と使い込むほどに艶の出るシャークスキンなら当社にお任せください。



代表取締役 日下部 剛
Tsuyoshi Kusakabe



表面の凹凸のシボ感を生かした濃淡が美しい
『シャーク・モトーン』



使い込むほどに艶が出ます。高級感ある
光沢『シャーク・ブラック』



取り扱い業者一覧
ピツグスキン

	所在地	TEL	FAX
石井製革所	131-0042 墨田区東墨田 3-18-7	3611-3237	3611-3232
石居みさお皮革	131-0042 墨田区東墨田 3-21-13	3616-8264	3616-8279
(株)工セカ	131-0042 墨田区東墨田 3-15-19	3613-8851	3613-8854
小川化学(有)	131-0042 墨田区東墨田 3-15-15	3611-4907	3619-4428
(有)兼子皮革染色工場	131-0042 墨田区東墨田 3-14-25	3612-3710	3612-3665
(有)T.M.Y's	131-0042 墨田区東墨田 3-14-21	5630-8189	3612-5111
(有)ティグレ	131-0043 墨田区立花 4-8-17	3617-2997	3617-2998
(有)サンワレザー	131-0042 墨田区東墨田 2-22-9	3617-2414	3617-2414
墨田革漉工業(株)	131-0041 墨田区八広 4-43-4	3613-2131	3619-5380
(株)墨田キール	131-0041 墨田区八広 4-9-2	3617-8551	3617-8553
墨田産業(株)	131-0042 墨田区東墨田 3-5-18	3617-4411	3617-9100
(有)田丸製革所	131-0042 墨田区東墨田 3-6-5	3611-3062	5247-5287
長坂染革(株)	124-0006 葛飾区堀切 1-34-8	3691-1161	3691-1512
栃木レザー(株)	328-0033 栃木市城内町 2-1-4	028-224-0666	028-222-7377
(株)ニシノレザー	131-0042 墨田区東墨田 3-5-3	3616-4961	3613-4602
福島化学工業(株)	131-0042 墨田区東墨田 3-9-17	3616-0010	3616-0013
本田産業(株)	131-0042 墨田区東墨田 2-16-1	3611-0205	3611-0213
本田皮革(株)	131-0042 墨田区東墨田 3-12-1	3611-2992	3611-2992
まる幸商会	131-0042 墨田区東墨田 2-22-7	3611-1352	3611-1352
山口産業(株)	131-0042 墨田区東墨田 3-11-10	3617-3868	3613-3239
山口皮革染色(株)	131-0042 墨田区東墨田 3-15-9	3616-2355	3614-2192

皮革産業を技術面からサポートします



TOKYO METROPOLITAN LEATHER TECHNOLOGY CENTER

東京都立皮革技術センター

〒131-0042

東京都墨田区東墨田 3-3-14

3-3-14, Higashisumida, Sumida-ku, Tokyo, 131-0042, Japan

TEL.03-3616-1671
FAX.03-3616-1676

<http://www.hikaku.metro.tokyo.jp/>



皮革技術センターでは、皮革に関する試験、研究、技術支援を行っています。
豚皮の有効利用、ピッグスキンの新規用途開発、革の特性、副産物・廃棄物の
有効利用などの研究を中心に行っています。

皮革技術センターへの試験依頼について

依頼試験

皮革技術センターでは、主に皮革・革製品に関する試験を行っています。

近年、商品の消費特性に対する消費者の関心が高まるにつれて、製造工程における品質管理の必要性が高まる一方、取引段階においても材料・製品の性能に関するデータが要求されるケースが多くなってきています。そこで、試験、検査設備を持たない中小業者のために、依頼に応じて皮革原材料、製品等について各種の試験等を行い、業界の一助としています。

また、これらの試験を通じて、企業の技術開発、製品の品質改善等に結びついた技術指導もあわせて実施しています。

依頼試験 ご利用の手順

1. 依頼試験項目等をご確認ください。
HPをご参照ください。<http://www.hikaku.metro.tokyo.jp/>
2. ご来所いただき、試験の申し込み時に料金をいただきます。
3. 試験が終了しましたら、ご連絡いたします。
成績書を受け取りに、ご来所ください。



主な試験例

■物理試験

試験項目	規格	料金
厚さ	JIS K 6550,6552,6557-1	970円
引張強さ	JIS K 6550,6552,6557-2	1,560円
伸び	JIS K 6550,6552,6557-2	1,560円
引裂強さ	JIS K 6550,6552,6557-3	1,560円
吸水度	JIS K 6550,6557-6	1,950円
耐屈曲性	JIS K 6545,6557-8	1,690円
染色摩擦堅ろう度	JIS K 6547,6559-1,2	1,060円
染色摩擦堅ろう度	ISO 11640,JIS K 6559-3	2,560円

■化学試験

試験項目	規格	料金
水分	JIS K 6550,6558-2	1,430円
脂肪分	JIS K 6550,6558-4	2,600円
皮質分	JIS K 6550,6558-6	3,250円
クロム含有量	JIS K 6550,6558-8-1	2,210円

● その他の項目、詳細はお問い合わせください。

ピッグスキン工場マップ

工場への突然の訪問はご遠慮ください。あらかじめお問い合わせをお願いいたします。

QRコードを読み取ると地図が表示されます



有限会社ティグレ

〒131-0043 東京都墨田区立花4-8-17 鈴梅ビル1階
TEL.03-3617-2997 FAX.03-3617-2998



石居みさお皮革販売代理店 中村貿易株式会社

〒131-0045 東京都墨田区押上3-62-3中村ビル
TEL.03-6657-4440 FAX.03-5247-4080



長坂染革株式会社

〒124-0006 東京都葛飾区堀切1-34-8
TEL.03-3691-1161 FAX.03-3691-1512



1



株式会社墨田キール

〒131-0041 東京都墨田区八広4-9-2
TEL.03-3617-8551 FAX.03-3617-8553



2



墨田革漉工業株式会社

〒131-0041 東京都墨田区八広4-43-4
TEL.03-3613-2131 FAX.03-3619-5380



3



山口産業株式会社

〒131-0042 東京都墨田区東墨田3-11-10
TEL.03-3617-3868 FAX.03-3613-3239



4



福島化学工業株式会社

〒131-0042 東京都墨田区東墨田3-9-17
TEL.03-3616-0010 FAX.03-3616-0013



5



株式会社ニシノレザー

〒131-0042 東京都墨田区東墨田3-5-3
TEL.03-3616-4961 FAX.03-3613-4602



6



有限会社兼子皮革染色工場

〒131-0042 東京都墨田区東墨田3-14-25
TEL.03-3612-3710 FAX.03-3612-3665



7



有限会社T.M.Y's

〒131-0042 東京都墨田区東墨田3-14-21
TEL.03-56 30-8189 FAX.03-3612-5111



8



株式会社工セ力

〒131-0042 東京都墨田区東墨田3-15-19
TEL.03-3613-8851 FAX.03-3613-8854



9



有限会社ティグレ

〒131-0043 東京都墨田区立花4-8-17 鈴梅ビル1階
TEL.03-3617-2997 FAX.03-3617-2998



10

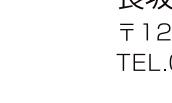


石居みさお皮革販売代理店 中村貿易株式会社

〒131-0045 東京都墨田区押上3-62-3中村ビル
TEL.03-6657-4440 FAX.03-5247-4080



11



長坂染革株式会社

〒124-0006 東京都葛飾区堀切1-34-8
TEL.03-3691-1161 FAX.03-3691-1512



TOKYO LEATHER PIGSKIN 2021

企画：株式会社ソーシャルデザイン研究所

協力：一般社団法人日本皮革産業連合会 吉村 圭司

産業・教育資料室きねがわ 岩田 明夫

東京都立皮革技術センター

編集・デザイン：徳永 美子 (design.T.rooms)

取材：川崎智枝、鈴木清之 (B.A.G. Number)

イラスト解説ページ：進士 遼

撮影：馬杉 真理子

2020年11月発行